

P-E-3

消耗症候群を呈する重症 AIDS 患者の体重減少に 補中益気湯が奏功した 1 例

Hochuekkitou, one of the Chinese herbal medicines, could be effective to increase body weight of HIV associating wasting syndrome.

○草柳 はる, 村田 昌之, 貝沼茂三郎, 小川 栄一, 大田黒 滋,
澤山 泰典, 古庄 憲浩, 林 純

九州大学病院 総合診療部

A 40-year-old man with sever AIDS (Disseminated Mycobacterium avium-intracellulare complex, Toxoplasma encepharopathy and Cytomegaroviral retinopathy and emaciation) had been treated with antiretroviral medicines for 3 months. After Hochuekkitou, one of the Chinese herbal medicines for valetudinarian, was added, he has gained weight and is quite well.

【緒言】補中益気湯は、虚証患者に投与され、免疫不全患者の免疫・栄養改善効果や慢性閉塞性肺疾患患者の体重増加と呼吸困難感改善の報告がある。今回、AIDS における消耗性症候群に、補中益気湯が体重増加および全身状態の改善に寄与したと考えられた症例を報告する。

【症例】40 才, 男性, 同性愛者。身長 175cm (30 才時体重 75kg, BMI 24.5)。2006 年 4 月肛門部尖圭コンジローマの術前検査で HIV 感染を認め、播種性 MAC 症, サイトメガロウイルス網膜症, トキソプラズマ脳症を合併し AIDS と診断され, 前医に入院。前医入院時, 体重 60kg, BMI 19.6, CD4 4/ μ L, HIV RNA 62000 コピー/mL。抗 HIV 療法導入後, 薬剤性腎障害により透析導入され, MRSA 菌血症を合併した。透析離脱後, 同年 11 月 13 日当部へ紹介転院となった。入院時, 高度の貧血, 全身倦怠感, 労作時息切れを認めた。体重 53.7kg, BMI17.6, CD4 5/ μ L, HIV RNA<200 コピー/mL。抗 HIV 治療を工夫し, 体重は 65kg まで増加したが, 汎血球減少のため輸血の継続が必要であった。2007 年 2 月 21 日全身倦怠感, 胸脇苦満があり補中益気湯を追加したところ, 食欲が増進し, 倦怠感が改善した。体重 71kg, BMI 22.9, CD4 80/ μ L, HIV RNA<50 コピー/mL となり, 全身状態が安定したため, 5 月 1 日自宅退院した。

【結語】補中益気湯は AIDS の消耗症候群を軽減できる可能性が示唆された。